

次元転換
される
超古代史

これが日本精神
《深底》の秘密

〔新装版〕

正統竹内文書 の日本史「超」 アンダーグラウンド

竹内睦泰
秋山真人
布施泰和

世界のひな形「日本」から宇宙の進化と創造がはじまる！ 神々が降臨した三人の言霊が、霊、UFO、超能力から超古代史まで、隠されてきた神々を解き明かす

1



ヒカルランド

はじめに——奇々怪々な時代を乗り切るために「直感」に導かれた鼎談

二〇一一年一月のある日、私のところに突然、「第七三世武内宿禰たけのつちのすくねこと、竹内陸泰たけうちむつびとに会いなさい」という「直感」が降りてきた。それを聞いた私は、竹内陸泰氏には失礼な話だが、「何をいまさら」と否定的に反応してしまった。竹内氏にはそれまで四、五回取材させてもらっていたが、肝心な話になると口を濁にごすし、政治信条も主義主張もまったく私と異なっていたため、わざと何年間も連絡を取らずに距離を置いていたのだ。

ところが、その「直感」はそのような私の心情を見透かしてか、「お前は竹内とは主義主張が合わないし、まったく別の道を行くものだと考えているかもしれないが、私たちから見れば、お前たちの相違点はコーヒーが好きか、紅茶が好きかの違いにしか見えない。それだけの違いのために会わないのはおかしい。とにかく会ってみる。そうすればわかる」と私に告げたのである。

「コーヒーが好きか、紅茶が好きかの違いにしか見えない」という言葉に私はすっかり感心して、「まあ、それほど言うなら、騙されたと思って会ってみるか」と半信半疑であったが、竹内氏に取材をさせてほしい旨をメールで伝えたのである。

そして実現したのが、同年一月一九日、新宿・早稲田のリーガロイヤル東京における第一回目の取材であった。その取材内容は拙著に詳しいが、非常に興味深く、多くの示唆しきに富んでいるものであった。それに、以前取材したときの印象とも違い、とても打ち解けて取材を楽しんでくれているようにも感じられた。私も取材をしていて楽しかったので、このとき初めて「コーヒー党」と「紅茶党」はお互い信頼し合えるようになったのであると思っている。それに意外なことに、右と左に歩く姿が違うだけで、目指すところも一緒だったのである。

その後数か月にわたって、私と竹内氏は何度か会って取材を重ねた。その際、私にとって非常に都合のいいことに、面白い現象も起こった。私は東京へは隣県の神奈川から二時間ぐらいかけて取材に向くのだが、竹内氏の取材が終わった後、長年の友人であり取材先でもある国際気能法研究所代表の秋山眞人氏あきやままことに電話をすると、普段は忙しくてなかなか会えない秋山氏が「今日なら空あいていますよ」と必ずと言っていいほど取材に応じてくれたのだ。はるばる二時間かけて都心に取材に来る私にとっては、一度に二人に取材できることはとてもありがたかった。

こうして二人への取材を重ねて出来上がったのが、『誰も知らない世界の御親国日本』ミオヤクニ（ヒカルランド刊）と、二〇一一年二月一七日という、奇くしくも竹内睦泰氏の誕生日に出版された『竹内文書』の謎を解く2——古代日本の王たちの秘密』（成甲書房刊）であった。その後者

を、取材でお世話になった秋山氏に届けに行った際、秋山氏から竹内氏に会ってみたいという話を聞いた私が「二人を会わせて話をしてもらったら面白くなりそうだ」と、実は単純に私の好奇心から提案されたのが、今回の鼎談である。お互い主義主張も異なる三人が実際に会って話をすれば、そこに何かこれまでとは次元の違う、まったく新しい別の世界が生まれるかもしれない、この陰謀論渦巻く奇々怪々な時代を乗り切る知恵を提供できるかもしれない——そのような趣旨に二人も賛同され、今回の異色鼎談が実現した次第である。

ここで両氏をよくご存じのない方のために、両氏の略歴を記しておこう。

秋山真人あきやままこと 一九六〇年、静岡県に生まれる。十代のころより「超能力少年」としてテレビなどに登場。静岡県警、郵政事務官、書籍編集者・編集長などを経て、現在国際気能法研究所代表。

世界各国の研究団体との交流を通じて、人間の未知能力・潜在能力の開発と、深層心理の科学的な研究に努めている。世界及び東洋の神話、占術、伝承、風水に精通。精神世界、宗教、パワースポット、超能力分野の研究・実践者として日本を代表する一人である。『死後世界地図（日本編）』（コスモトゥーワン刊）、『秋山真人の語りあかそう超能力』（三交社刊）、『私



は宇宙人と出会った』(ごま書房)、『スピリチュアル前世リーディング』(学研)など著書多数。

竹内睦泰

一九六六年、大阪府に生まれる。一九歳のときに突然、南朝小倉宮正統竹内文書

口伝継承者として第七三世武内宿禰を継ぐことになり、古神道の秘儀・秘伝を知る。中央大学法学部卒業後は大学受験予備校の日本史講師となり、代々木ゼミナール(代ゼミ)では独自の史観で日本史を熱く、深く語る名物講師として一〇年間勤務した。代ゼミ退職後は自らも北斗総研予備校を設立して講師を務めるかたわら、古神道本庁統理の武内宿禰として全国で祭祀(幽齋)を執り行っている。現在、日本歴史文化研究機構(JCIA)理事長・作家。著書に『超速! 日本史の流れ』(ブックマン社刊、五〇万部超)シリーズなどがある。夢は、死んだら前方後円墳に入ることだという。



折しも巷では、3・11東日本大震災人工地震説のほかに、アセンションとか、地球滅亡などといった現象が実際に起きるのではないかなどと騒がれている。

はたして、そのような現象があるのかなのか、神々はいるのかいないのか、日本はこれからどうなるのか、人類の本当の歴史は何か、人類の未来はどうなっていくのか——鼎対談の中から、多種多様なエネルギーが渦巻く大宇宙を地球人類がどう乗り切っていくべきなのかのヒントを読み取っていただければ幸いです。

二〇一二年四月



ふせやすかず
布施泰和

9 はじめに—— 奇々怪々な時代を乗り切るために「直感」に導かれた鼎談

第一章 古代日本の秘儀・秘伝——誰も知らない世界の秘宝

- 27 「三つ葉紋」に隠された秘密——大和族、出雲族、ユダヤ(秦)の和合
- 35 あらゆる宗教の大元は古神道——「すべてを抱きしめる」
- 37 歴史は七十二年のプラトン周期で繰り返している！
- 40 数魂で呪われた日本——数のサブリミナルは洗脳力が高い！
- 44 白山菊理媛の謎——女神信仰は意図的に隠された
- 47 「へぐる」||「オカルト」——隠されたものを伝える大変さ、優しさ

第二章 天空浮船とUFO——記紀から現代まで消された秘史を暴く

- 54 アマテラスニギハヤヒの正体、そして女にされた理由とは
- 58 木簡マージャンで秘密を伝達
- 60 松竹梅があれば籠城できる
- 62 武内宿禰の長寿の秘密はクマザサ茶
- 65 T P P 参加の恐ろしさは、農業ではなく医療と法律
- 68 金の含有量世界一——黄金の国ジパングは今も狙われている！
- 75 恵まれていない天皇・皇族の現状——「皇族健康保険」を提唱します！
- 77 名前を持たない皇族の名前
- 80 位山の木は宇宙避雷針——神を木に降ろせるのは天皇と竹内宿禰だけ！
- 85 驚くべき古代日本の植物・鉱石の知識は出雲族が握っていた！

第三章

古神道と超能力——神秘的能力をコントロールするヒント

- 94 竹内氏が神田川でジグザグに動くUFOを目撃！
- 97 UFOが特殊な空間移動を繰り返す現象は、テレポーテーションと同原理！
- 101 現代人の物質中心主義を見直させる霊的なUFO
- 103 ニギハヤヒは宇宙人的存在——正統竹内文書が明かす出雲国づくり
- 109 記紀から消された歴史——今上天皇も神武天皇も同一人物！
- 113 内外の秘密組織に狙われた武内宿禰——天皇を三人殺した!?
- 117 明治天皇をめぐる裏話——「南朝系説は嘘です！」
- 121 新宿のど真ん中、熊野神社と鳴子天神の謎の富士塚
- 125 空を飛ぶと電線にぶつかって死ぬ——地脈を妨害する送電線
- 128 電線と鉄道は能力を封じるために西洋が作った結果だった！
- 132 古神道の奥義である幽齋は、魂の祭祀！

第四章 超古代史と正統竹内文書——まだ起きていない過去、すでに起きた未来を探る

- 135 儀礼を知らず誰でもできるが、後戻りはできない
- 137 魂の離脱は簡単でも帰魂が難しい——伝承された儀式の意味
- 140 「背中を見る」——帰魂のポイントは自分を客観視できるか
- 144 幽体離脱では時系列が狂い、一日で千日を過ごす
- 147 三つに分かれた自分を知る——意識の三か所同時存在
- 150 混乱した自分の暴走を絵を描くことで抑えた
- 153 筆跡を変えた出口王仁三郎——「茨城の竹内文書は違う」
- 156 治療装置から情報交信まで、古代人の「巨石」超活用術
- 163 チャーチワード以前の文献に幻のムー大陸の地図があった!!
- 171 ムー大陸はあってもなくても困る——「あるはない。ないはある」
- 177 ジャイナ大雄の勝利に隠された真実——埴谷雄高『死霊』を読む

第五章 メディア、情報操作と精神世界——言えないこと、書けないこと

- 182 逆さ綴りGODとDOG、EVILとLIVEの言葉と「全肯定」対「全否定」の世界
- 186 秋山真人は見た！——レムリア大陸に存在した十六の王家
- 188 窮屈な原理主義のレムリアから、自由なアトランティスへ移住した記憶
- 192 アトランティスの港町の記憶——突き詰めてはいけない領域がある
- 197 秋山真人、テレビ収録での「ブチ切れ事件」の真相を語る
- 200 テレビで話題の超能力者リオは手品師か、幻術師か？
- 203 陸軍中野学校系統の幻術人脈——中村天風、藤田西湖、沖正弘、岡田光玉
- 208 「MJ12」はUFOではなく、原爆開発計画を隠すため！
- 210 CIAの心理情報戦としてのオカルト——エドガー・ケイシー、小松左京、落合信彦は米軍に利用された!?
- 212 利用しがいのある文化人は、みんな親米右翼
- 214 「激論バトル」秋山VS竹内——3・11は噂されるような人工地震だったのか

第六章 日本のお行きと神秘性——世界のひな形「神の国」

- 217 竹内「チベット地震は中国が起こしたもので、私は事前に知らせていました」
- 220 武器輸出市場の裏側——日本のミサイル発射技術、原子力研究
- 223 オウムのヘリコプターは2機墜落した!?——オウム真理教のバックは北朝鮮!
- 226 JAL一二三便墜落事故では現地で銃撃戦があった!?
- 229 海上自衛隊の哨戒機には米兵が乗っている!
- 234 秋山眞人が語る防衛大学での超能力実験——潜水艦の中と外での通信に利用!?
- 236 情報を得るには階級を超えた付き合いが必要です!
- 239 戦時中、最高レベルにあった日本の心理学
- 242 オウム問題のとき、一字違いで公安の捜査を免れた
- 245 何度もロシア渡航歴があることで、韓国の空港で足止めされる

251 奥行きそのものが日本——もっと神秘性を世界にアピールしたい

第七章

神々と超自然現象——宇宙の三原則「繰り返し」「対称性」「同質結集」

- 255 『猿の惑星』のモデルは日本——天皇は「偉大な猿」にされてしまった！
- 257 日本古来の鏡文字文化——カタカムナは左右反対にすると解読できる！
- 261 日本は世界のひな形だから神の国——偶然は神なり！
- 264 おいしい料理、作品を作る秘訣——三本、三人の「鼎」
- 267 皇紀二六〇〇年にできたゼロ戦
- 273 紀元前六六〇年には何もなかった——神武即位は西暦五〇年ごろ
- 276 「神宮」を勝手に名乗るのは僭称である
- 280 濁音は濁りのあるものの表現——本来は「たかあまはら」という
- 287 秋山真人、不思議な写真を鑑定する
- 290 高速で移動する発光体——秋山「非常に珍しい写真です」
- 293 出雲の神在祭に現れた奇妙な雲

- 296 出雲の鎮魂祭で現れた謎の光
- 303 宇宙、地球、空、地、風、草、土、人、すべてが神！ これこそ神道
- 307 竹内氏も大黒様を見かけていた
- 309 高尾山の山中で開かれた七福神の大宴会を見た！
- 313 空を飛ぶと「どうでもいいや」と思う
- 317 命の根源を探り、罪の意識と向き合って生きる
- 324 菊理媛の本質は「結ぶ」こと——天地人の力の結集
- 328 宇宙の基本三原則は「繰り返し」と「対称性」と「同質結集」
- 332 悪も濁りも闇も「すべてを包む」強さこそ、「癒し」よりも大切です
- 338 秋山さんはもつと本を書いて知識を伝えるべきです
- 340 すべてを抱きしめる古神道、奥行きある立体構造の日本を見つめ直そう
- 343 あとがき——本書は世界の貴重な財産となる！

秋山コラム

- 42 2012年には何が起きるか
228 フクシマは核武装の拠点だった？
311 神様は多面体
319 自然と調和する日本人の脳
323 食事は自然との感情のすり合わせ

竹内コラム

- 33 竹内家の家紋
41 数魂
71 命をかける仲間
127 日月神示
134 顕斎と幽斎
175 内八州外八州
180 『死霊』
233 P13C

- 271 260
ダ・ヴィンチ
南北朝和平

布施コラム

- 34 古代日本成立の背景に三部族の和合があった
67 TPPで破壊される日本の文化・伝統
112 絶体絶命のオオクニヲシを救ったニギハヤヒの巨大戦艦はUFOか
131 テレパシーを阻害する電線、電車、電磁波
160 正統竹内文書と茨城の「竹内文書」
170 米国版竹内文書『オアスペ』には幻の大陸パンが描かれていた
207 陸軍士官学校第34期生の不思議な神様ネットワーク
272 南北朝和平となった「竹」「泰」の和議
301 不思議な現象は、神の仕組みの中で発生する
302 イギリスで現れたオーブの正体は
312 高尾山にあった異次元世界への扉
331 宇宙は鏡の裏と表の世界だった!?

カバーデザイン 三瓶可南子

イラスト 荒木慎司

人物写真 新田健二

写真協力 石本馨 / [wikipedia commons](https://commons.wikimedia.org/wiki/User:Shimomoto) 他

校正 エッグ舎

本文仮名書体 文麗仮名(キャップス)

本書はヒカルランドで刊行された『正統竹内文書の日本史「超」アンダーグラウンド①』（2012年4月刊）の新装版です。

第一章



古代日本の秘儀・秘伝
—— 誰も知らない世界の秘宝